

神戸のよき時代

内海重典
え・津高和一

大正十五年、私達一家は父の転勤から大阪をあとに、神戸の山手に移って来た。大阪の家が築港近くにあったので、移転の日は大きな汽船にのって神戸に来たことを憶えている。

今考えてみると、これは別府航路か高松航路の船で、当時は阪神電車にのつても、神戸まで二時間近くもかかったし、船とそう変らないというところから海路の方を選んだらしい。

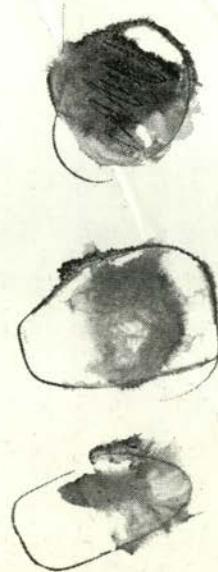
こうして私の神戸っ子の生活が始まったのである。その後、兄が大阪の市岡中学へ、国鉄が通っていたが、普通列車の三等車の板張椅子に腰をかけ、毎日、長時間を要する通学に、それが原因で病に倒れた事を思うと、大阪と神戸はすい分遠い距離であったようだ。

私の小学校は県庁のすぐそばの神戸小学校。それが地理の時間に「兵庫県の県庁の所在地は何处

ですか」と先生に聞かれて、「神戸市下山手通四丁目です」と答えて大笑いされたことがある。

関西学院の中学部に通うようになつた頃には、早や元町通いの味を憶えた。忘れもしない、元町二丁目にあつた本庄写真館の奥の喫茶部は、当時の話題の中心であつたようだ。美人のキャッジャーがいるとかで、中学生から大学生までが、盛んに出入りしていた。私達もグループでせつせつと通い、その女性とも話合うようになつたが、あちらから見れば、まあちっぽけな中学生が「」ということで弟のみの扱いでみんなうまくあしらわれていたに違いない。それでも嬉しかった。

その頃、今も六丁目にある三星堂の二階の喫茶部は想い出の場所である。ここは、映画好きになつた頃、目下は「映画の友」社の編集長で、テレビでもおなじみの淀川長治氏の、若き日の活躍場



所である。私もこの喫茶室で淀川氏と映画を論じるようになり、そして映画の見方といったことを数えられたところである。生意氣盛りの中学四年の頃のことである。

中学を出た頃から今度は本庄喫茶部で、当時の宝塚作家連中を囲んで座談会をもつようになつた。映画ファンから宝塚ファンになつた頃の私。だからこの二つの喫茶店への出入りが宝塚に入る動機となつたのかもしれない。

昭和八年頃だったか、神戸の港まつりが始めて行われた。

その夜の元町通りの雜踏ぶりは忘れられない。

私が宝塚に入る前に、大阪の松竹で、レビューの仕事をしたので、そのスタッフと、秋月恵美子や芦原千津子を誘つて、このまつり見物に出かけたことを記憶している。大変な人出で、なんとかはなればなれになつた。元町が人で埋るなんてことは、ついぞその後経験したことが無い。一神戸の人はみんな祭に酔つたのであろう。純すいな神戸っ子時代という感じだ。

静かな山の手通りも忘れられない。

山手に住んでいた頃は、あの坂道が、自転車に初めて乗つた私のよき練習場であった。タクシーなど殆んど通らぬ静かな住宅街であった。それだけに夜のデートにも又よき處で、諫訪山や神戸女学院のあたりは、神戸情緒が満喫された処だ。

須磨は、楽しい神戸っ子の海水浴場だった。毎日市電にゆられてゆく海、いくらだったか忘れたが、海水浴へゆく赤い割引往復券をしつかり握つて通つたものだ。いまは汚い代名詞の妙法寺川

が、私達の泳ぎ場であった。すき通つた水の中へ、何度頭からもぐらされたであろう事一関東だけを食べ、ひやし飴をのむ楽しきは忘れられない。

六甲山、摩耶山、そして再度山の登山は、神戸っ子なら、誰れでもなじんだところだ。特に再度山は、今もつづいてるヒヨコ会というのがある。毎朝山上の茶屋まで登り、コーヒーとぶ厚いトーストを、美味しく食べたものだつた。

大水害は神戸市を一変させた。それまで、横筋のすみすみまで舗装されていた神戸の道、そのアスファルトが一瞬のうちにハガされて、ホコリッポイ町に変つた。

そして戦後。すでに宝塚入りしていた私は軍の慰問に生徒を伴い湊川公園近くにあつた神戸の高射砲隊を訪れた。そのとき、隊長は「神戸の町には敵機は一機たりとも入れません」と力強い約束してくれていた。しかし火の海になつた神戸を、灘にあつた我が家の物干から眺めて悲しい思いであつた。その頃、父の住んでいた湊町、あの火の中で、父はどうしているのだろうー神戸の面影は消えてしまつぞと、涙ぐみながら、その魔の火えんを眺めていた。家は焼けたが父は無事だった。神戸は大好きな町だ。すっかり変つた神戸だが。元町、センター街を歩くのは今でも好きだ。だが静かな美しい情緒のある港の町という印象は、排気ガスと共に消されてしまつたようだが、これが現代の神戸なのかも知れない。いや世界中の美しい都会が、そんな変ぼうをなしつつあるようだ。

ビールと原爆

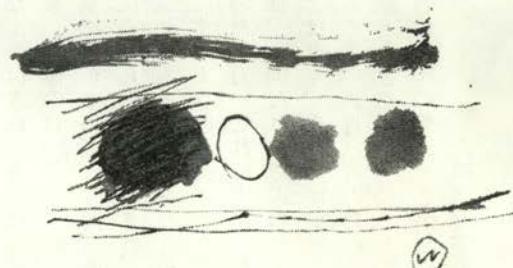
古林喜樂
え・津高和一

梅雨去りてビールの季節となりにけり。十年前イギリスで、ロンドンというところは、ビール党にとって、不自由なところだなアと思ったことがあつたが、今度はアメリカで又同じような経験をなめた。ロンドンでは夕方の五時半になるまで、門戸は閉ざされている。十時半には百貨店の終りのごとく追い出される。いやしい飲み助たちは、十一時が門限のピカデリーへと車を走らせる。あと二十分ぐらいの残り時間にさえ、未練が断ち切れないのである。

今度の訪米はロサンゼルスでは、パサディナにあるカルテック（東のエム・アイ・ティと並び称せられるカリフォルニア工科大学）のキャンパス内にある宿舎に泊り、ブルーミングトンではインディアナ大学の構内にある宿舎に泊るというようなことであつたので、ビールとは勿論縁が断たれ

た。敷地がなんと百五十万坪のインディアナ大学の一隅に閉じこめられたのでは、車がないことには、暮夜ひそかに抜け出して、そとへ出かけるといふわけにもゆかないものであつた。しかしこれはこれまでしもとして、ニューヨークでは一流中の一流ホテルに泊つたのであるが、午前は十一時までありつけないし、日曜日にはそとへ出ても午後一時までは門前ばかりである。その時のあいさつの不愛想なこと、今日が日曜だということを知らね工のか、と言わんばかりのつづけんどん振りであった。

一行の教授たちは、私に同情していろいろ気をつかつてくれ、ひそかに私の部屋に伍ビールをもち込んでくれたこともあつた。インディアナ大学の教授たちは、どこで聞きこんだのか、交代で自家によんしてくれて、存分に味わせてもくれた。だ



から同情されるほどには不自由もしなかつたのであるが、アメリカとお別れの最後の日、サンフランシスコで五月三十日のメモリアル・デーにぶちあたり、一日中ありつけないこととなつた。追悼の日の一日ぐらいは慎しんでいたらよいものを、そこは人間のあさましさ、断たれると却つて欲望がいや増すもので、ホテルを一人で抜け出した。サンフランシスコともなると、立派なチャイナ・タウンもあり、街をぶらついていると、次から次へと日本人や日系人にあう。根気よく会う人ごとに、一寸おうかがいいたしますがを続けているうちに、そこはじゃの道は蛇というわけで、チャイナ・タウンの一隅に、治外法権のロカールを探してゐることができた。太平洋岸でご自慢のパットワイザーなるビールは、まづいのが定評のアメリカのビールにしては、まだしもの方ではあつたが、禁断のことでもあつたので、私にとっては全くの甘露であった。

私はこの頃ビールを半分は健康法としてたしなんでいる。だからひとのようく酔うためにのむのではない。アルコールが血液のなかに入らないよう飲みかたをしている。だから頗りみて、ビールをのんでもやましい思いをしないのであるが、流石この日は、ジョッキを重ねているうちに、良心のうすくのをおぼえ出した。アメリカ人は今日は、戦没者を追悼し墓詣りをしているのだぞ！それなのにお前は何たるざまだ！というような声がささやくように思えた。

私はスタンダードで思いに沈んで行つた。追悼の日という休日、メモリアル・デーという祭日、私はいたたまれなくなつて、急ぎ勘定をすましてそと

へ出た。思いは日本へはせてゆく。今ごろ日本では、建国の日で大騒ぎをしているのであろう。片や追悼の休日、片や建国日祭日の大騒動、ここまで思いつめたときに、私の頭にフト浮んだのが、今年もやがて訪れてくる原爆の日のことであつた。原水禁というような人類の悲願の行事がなぜ三つにも分裂して、世界に醜態をばくろし、世界中の物笑いになるような恥をさらすのであろうか。平和を念願する世界中の人が期せずしてきゆう然と集まるであらうこの行事に、なぜ悲願を抱く人たちを寄せつけないようにするのであろうか。こんなぶざまなことになるのであれば、思い切つて当分行事をみんなやめてしまつた方がよいのではないか。そしてすべてを一度白紙にかえて、ほんとの姿で再出発する方途を考究すべきではないか。

こんなことを考へてゐるうちに、問題の多い「建国の日」なんかはきれいさっぱりあきらめて、八月六日を「追悼の日」にし、静かな休日のあの時刻に、全国民がせめて一分間、あの痛ましい原爆死没者に心から黙とうをささげ、彼等の冥福を祈りつつ、二度とあの惨劇をくりかえさない決意をあらたにするようにしたらどうであろうかと思うにいたつた。万一これが実現したら、一国だけの追悼の日、一国だけの建国の日というよくなせまいものではなく、やがては世界中の追悼の日ともなるであろう。八月六日のあの時刻に、世界中のものが黙とうをささげつつ原水禁を誓う。そこにこそ世界の平和の芽が吹き出していくのではなかろうか。

△神戸大学名誉教授▽

六甲名花

アジサイ 哀話

室井

綽

△写真も△



★上はガクアジサイ
次頁のアジサイはシチダンカ

アイアイ、ワタクシノ、ハナツコハ、アジサイ
トモウシマス、フビンナコデ、ゴザリマス……コ
ドモヲタズネテ、イズカラ、オヤマニ、ノボリマ
シテゴザリマース……テン、テン。

と聞きとれないほどかすかな、うめき声に等しい
哀願である。短いながらも子を思う親の一念には
わりがない。ことにアジサイという子供は性的の
不具者で親の苦しみは一層よく判つて貰えようす
さて、本論に入るに先だつて親であるガク、す
なわちガクアジサイから話をすすめよう。

ガクアジサイとは額アジサイで、花の周辺花は
かりがはなやかで中央の花は、もっぱら生殖とい
う子孫をつくるおしべ、めしべがよく発達してい
る。そしてもとは伊豆半島あたりの海辺に自生し
ていたものである。人並みに開花、そして時期が
到来すると恋愛もし、子孫を作るという一般生物
並みの生活が続いているということには変わりが
ない。

ところが何の因果か、その花のなかからアジサイ

ところだ。

イというおしべ、めしべの恋愛の道具をすっかり返上してしまったウマズメノコである。すなわち性的の不具者の花つ子のアジサイが生まれてしまつた。続いてこともあろうに六甲山頂という寒い悪環境に鞍替えというか、転売されてしまつたから、まったくまらない。幸か不幸か挿木でよく活着するということから生身を割いては挿し木するのである。

このアジサイに交じってごく近年に親であるガクアジサイが子供をたずねて登りついた。巻頭の片仮名文は、このときの不憫な子を思う親の一念である。この初対面の現場こそ、かつて石童丸と薺萱御坊との喜びを義太夫の言葉を借りると「言うより先きは我が子かと、見れば見るほど、稚な顔、疑いもなき我子ぞと、言わんとせしが待てしばし……さぞ嬉しくも懐しく飛びつくほどに思ひけん……」と三味線の音とともに現場の光景が思い浮んでくる。

六甲のアジサイの藍色は眼にしみる冴えた美しさである。この美しさは八月いっぱいも、この色が得られるところに値うちがある。下界の市街地では六月の下旬に、すっかり茶褐色となつて美しさを返上する。

この美しさは六甲特有の多湿、夜の低温、それに花崗岩という酸性岩のおかげである。この条件は金では解決のできないむずかしさがある。

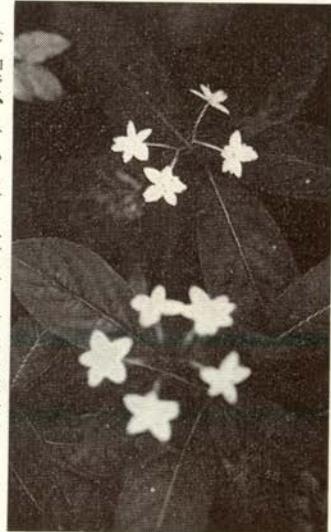
六甲山で花を眺めていると、この花弁、むずかしく言うと夢の真紅色のものがあるが、これは西洋アジサイと呼ばれ、日本のアジサイが西洋の土を踏んで貢録をつけたというか、洋行帰りという

ショットと面倒臭いがアジサイは学名をハイドランゲア・オタクサ・ジーボルトと言う。ジーボルトは日本滞在中、この花を愛し彼の愛人であつた

お滝の名を永遠に記念するため命名した。

右のいきさつを考えてみるとアジサイこそどの面でも浮ばれぬ不幸な運命を担つた花なのである。

なお、六甲山のアジサイの話になると、もう一つ紹介したいものがある。それはシチダンカとい



LONGINES

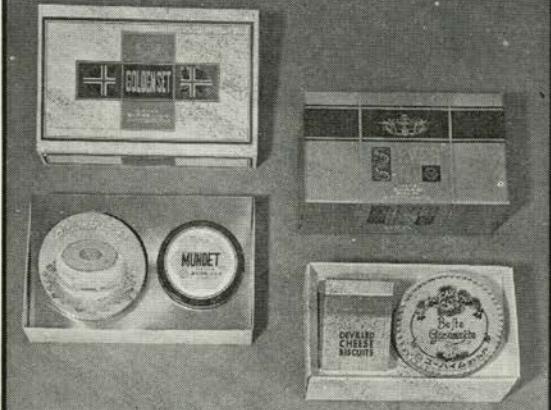
ロンジンをおもとめのときには
神戸でもっとも豊富にロンジンの
そろったさんちかファンシータウン
美田時計店へおこし下さい



特 約 店
美 田 時 計 店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1798
三宮店・三宮地下街 TEL 33-8798

お中元
ご贈答に..



北欧の銘菓
ユーハイム
コンフェクト

本社・工場 / 神戸龍内町1丁目 TEL 22-1164・9865
熊内店 / (市立美術館東隣)

三宮店 / 神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL 33-7343-0156・4314

神戸デパート店 / 長田区大橋5丁目 TEL 61-2101

甲子園店 / 国鉄甲子園口駅(北口)・芦屋店 / 国鉄芦屋駅前通・堂島

営業所 / 大阪堂島中町ビル地階・梅田店 / 大阪梅田地下センター・

栄町店 / 名古屋栄町ビル地階・千種工場 / 名古屋千種区若水町・大

丸店 / 神戸・京都・阪急店 / 神戸・大阪・三越店 / 神戸・丸栄店 /

名古屋・オリエンタル中村 / 名古屋・大阪国際空港・神戸鉄道弘済

会・丸物店 / 岐阜・豊橋

夏のモードをかざる
WAIKIKI GLASS



神戸眼鏡院

元町3丁目 TEL <33> 3112 代
さんちか店 TEL <39> 1874～5

nomiyama さんごとカメオ専門店

nomiyama

神戸国際会館アーケード TEL (22)8161 (内線) 333
本社工場
神戸市葺合区上筒井通1ノ20 TEL (22) 2070

□神戸つ子対談□

神戸の繁栄に創意と工夫を

秋田 博正

（△正興産業KK取締役社長）

雀部 虎四郎

（△阪東調帶ゴムKK取締役）

雀部

秋田さんは神戸は先祖代々なんですか。

秋田 私は生れは山口県下関で熊本の五高から東大を出

て商工省（現在の通産省）に入り、昭和24年に辞めまし

て父が社長をしていた日本汽船の専務になつたんです。

通産省に居ました時、金融関係を担当しておりまして当

時復古金融資というのがあつて、融資懇談会が神戸の日銀で毎週あつたんです。家の父が当時神戸銀行の頭取をしておりまして、よく会議に出席したんで帰りにご馳

雀部 秋田さんは神戸青年会議所（神戸J・C）の生みの親であり、また初代会長としてご尽力いただいたわけなんですが初代というのは云うに云われぬご苦労がおありだったと思いますが……。

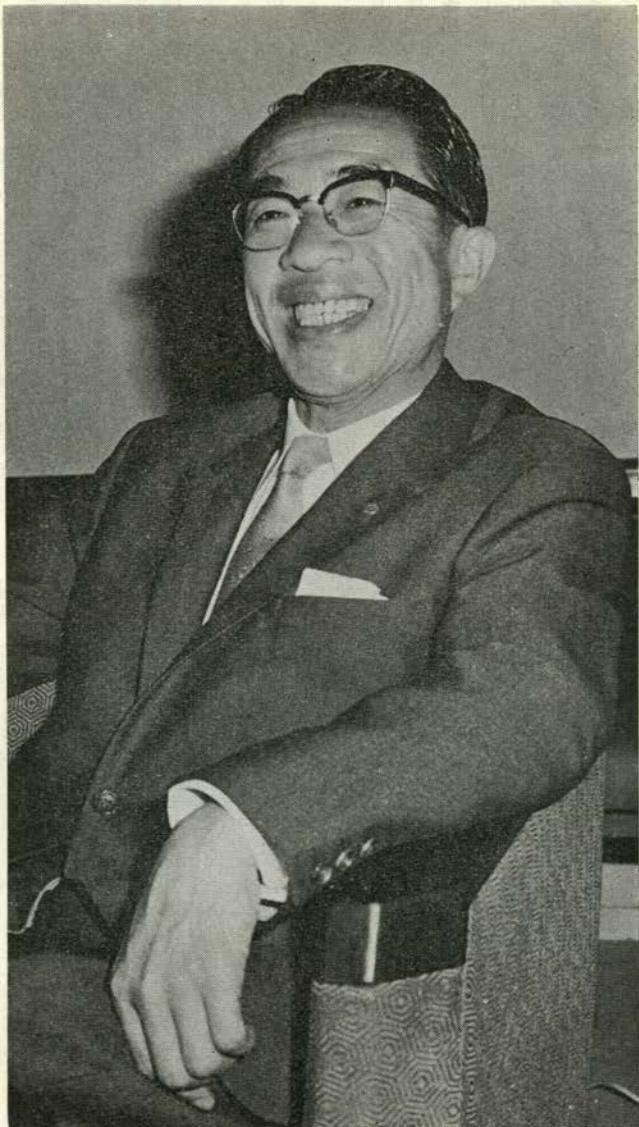
成長した神戸青年会議所

雀部 私は横屋の方なんですがまあ神戸ですね。

（笑）

走してもらうのが楽しみですね。

（笑）



（△写真・秋田 博正氏）

秋田 青年会議所が日本で初めて声をあげたのは東京なんですが、そのとき創立に尽力された人達がたまたま私の親友が多かつたんです。それで私にも「お前も入れよ」ということで東京J・Cにもしばらく籍をおいたこともあります。その後、神戸J・Cも創るべきだという話が度々東京・大阪であつたわけなんですが、戦後神戸の財界も若返りまして、当時J・Cを創つたら会議所の人、経済同友会の人、ロータリーの人といつも顔を合わせている人たちが、またJ・Cで顔を合わせる。これでは存立の意味ないし存立すら困難ではなかろうかというようなことで延び延びになつてました。

ところが、昭和33年に大阪が神戸財界の諸先輩に猛烈に働きかけて、とにかく何がなんでもやれ、ということになり受けたわけなんです。私は当時、J・Cに対して何かブチ・ブル的というのか甘さがある。まだ若くて大いに働き、また大いに自らを磨くべきときであるのに社会奉仕をしたり自己満足的な動きがあるのに反発を感じました。それで、私はやる以上は、そういう甘さを取り去つた経済問題を中心とする、若い人の集まりであるけれども大人の青年会議所を創りたいという気持ちを強くもつて発足にあつたわけです。

当時、この事が出来るんではないかと思ったのは、初めてのころから7・8年たつて、いわゆる40才以下の年令層にもかなり人材ができて、これならJ・Cが構成できるという自信がありました。その後、非常にいいメンバーに恵まれて現在会員数は日本でも三位とか、国際的、国内的にも表彰されずくめ創立にあづかった者として喜んで、また感謝もしているところなんです。

雀部 今のお話しでも現在のJ・Cのメンバーが反省し、考えなければならない示唆を含んでいると思うわけなんですが、そういった諸先輩方のご指導の中、J・Cというのはなにをすべきなのかというようなことも考えながら充実してゆきたいと思いますし、本年は11月に全国大会を神戸で開きます。その全国大会を神戸でやる

ということも最初は、果して立派にやり遂げるだけの実力があるのか、どうかということも問題になりました。しかし、そういうことを考えてばかりではいけない、この神戸で、我々の手でやってみせようという勇気と情熱が必要ではないかということでやることに決ましたわけです。また、全国大会の直後に京都で世界大会がありますので国際的なお祭さまも沢山おいでになる。大体6千人位来られるということで、目下準備に大わらわなんです。

我々も最初からメンバーに加えていただいてやつてますが、もうひとつ勉強不足でJ・Cマンとして威張れるようなことまではやつておりますが……

秋田 いや、いや、雀部君なんか私がJ・Cとしてかくあってもらいたいと思っていたその線のチャンピオンみたいなものですよ。

雀部 そういわれる恥しいですけれど(笑)今度の大會もただのお祭り騒ぎではいかんと、せつかくそれだけのお客さんが来られるんだから神戸の経済的特色を大いにPRしたいというので物産展を開催する。ゴルフとかボーリングといった一切やめて、分科会中心でやる、といったことが一応まとまりまして物産展の担当を仰せつかりましていろいろやつております。(笑)そういう意味で、自分自身のトレーニングと、もうひとついろんなことをやるのに基礎となるような、基本的な問題のつっこみ方が足りないんじゃないかという感じは持つているんです。

秋田 容易なことではないと思いますが、神戸J・Cも8年になるでしょう。充実もしてきたり、この際多少とも各地のJ・Cにおつとめもすべき時でしょう。それに共にひとつ行事をやるということは会の団結も高めますし、いい意味でのトレーニングにもなるわけで、私は必ず神戸J・Cが成功すると思いますよ。神戸らしいユニークな大会になつて欲しいですね。

神戸に流通センターは必要だ

雀部 地元に居りながら不勉強のいたりなんですが、兵庫県の物産というのは、非常にバラエティーに富んでおりますね。

秋田 兵庫県というのは、重工業もあれば海運、貿易、農業もある。私は農業問題というのは大事だと思うんですよ。誰れども多かれ少なかれ必ず関係がある。

農業が今日ほど重要なウェートを占めている時期はないと思うんです。物価の問題に関連し、あるいは兼業農家の問題とかいろんな問題を含めてね。この間も同友会から農業問題に対する流通問題に関して提言をしたんですね。

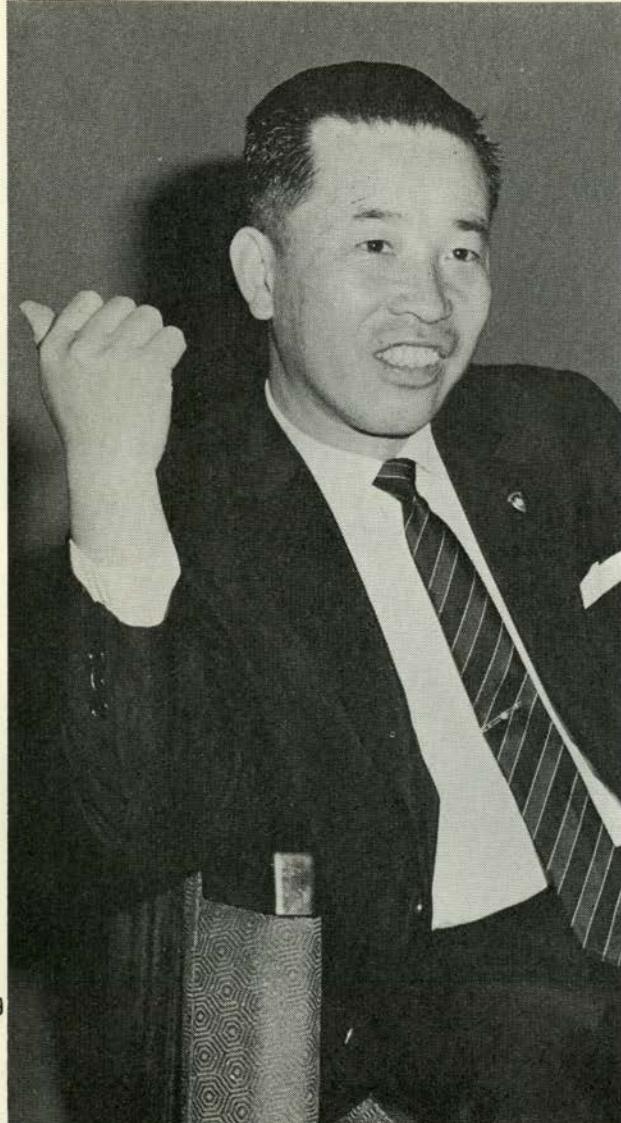
雀部 その流通問題ですか、生鮮食品などの流通センターが神戸に必要だということについては私も考えるところがあるんです。最近は道路の問題、その他経済開発的な問題で物的なところが主になっている。しかし、神戸が例えは西日本経済とか近畿経済圏の中でひとの使命を果そ

うということであるなら、やはり神戸がそれに適当であるかどうか、神戸としての役割を果すということが大事だらうと思うんです。その点について、もう少し流通センター構想をお聞きしたいですね。

秋田 その前の問題になるんですが、私は神戸のあり方ということについても考える必要がある。私は神戸には深い愛着を持っています。が、世の中は変っているんです。戦後政治・経済の中心は東京に移っている。神戸を昔ながらの神戸として繁栄させようという考え方は適当ではなく、現在の世の流れに沿った線で神戸の繁栄、発展を考えないといかんと思うんです。だからそういうやり方で神戸で発展しやすい企業をもちこむことですね。

さつきおっしゃったように近畿経済圏というものの一環として神戸を考える。京阪神なんか東京と同じに考えていいんじゃないかと思いますね。大きなマーケット、

△写真・雀部 虎四郎氏△



大きい需要というものを喚起して、大きい消費・供給が行われるという考えの方が発展も大きい。神戸は海運、船の集散地の中心ですし、播州工業地帯あるいは阪神間という消費地を控えている。だから京阪神を一帯とした大きな経済圏の中での流通センターというものは神戸にぜひつくらないといかんと思いますねえ。

この間も灘生協の田中組合長と流通問題でお会いしていろいろ話し合ったんですが、陸上関係ではどうしても制約があるし経費もかかるんで、国内の流通ももと海上輸送に切りかえないといけない。海上輸送も今までより合理化された方法でコスト・ダウンに成功するなら新しい神戸港の飛躍もできる。創意工夫というか、とどまらざる改善・努力というものが繁栄には必要ですね。

雀部 それが結局、物価対策にもなるというわけですね。

販売と金融は会社経営の両輪

雀部 私なんかは経営の一部門しかやっておりませんが秋田さんは全社的な経営のご苦労もおありでしょう。ひとつ、経営哲学をお聞かせいただきたい。

秋田 私共、まだまだ若輩で……（笑）そういうことを語る資格はないんですが、やはり世の中が必要とするもの自分の仕事にしたいと思いますね。また世の中が必要とするということは当然、そのよつくるいわれがあるわけですから、その線に沿った仕事をする。そこに社会的な意義もあれば、自分の仕事も繁栄するという…（笑）。

三鬼陽之助さんが、これから経営者の資格は販売能力にある、ということを書いておられるのを見たことがあります。ですが、こう企業の競争が厳しくなるとそうなると思いますねえ。販売といつても何も物を売るということばかりではなくて、海運の場合は荷物を集めるという意味もひつくるめて営業活動に重点を置いた、という風に解釈して、私も最近は未熟ながら販売に全力を尽しています。

雀部 それも社会が要求している仕事をやるという考え方

方から、お客さんを大切にしなければいかんということでしょう。

販売と金融は会社経営の両輪

秋田 販売と金融は会社経営の両輪でしょうね。金のことを忘れて経営をするという、こんな無茶なことはできませんからね。それを営業の基本としてゆかなければなりませんねえ。

雀部 最近は中小企業問題にしましても、金融問題が大きくなりあげられておりますが、私は、むしろ、本質的には労務管理だとか経営のやり方、細かく掘り下げてゆくと生産の問題点をつかむ、そういういろんな問題を改善してゆく人を創りあげることが中小企業には欠けていると思うんです。そういった人の養成の問題とか、お客様の問題がスムーズにいけるような態勢にあれば金の方はむしろ従いてくれると思いますね。

秋田 たしかに収支の改善はなくして金融でつなぐ、といふ考え方を避けるべきだと思います。だから、何とかつちつまを合わせるという考え方をやめて、何事も真正面からぶつかって解きほぐしてゆく努力が必要だらうと思いますね。

雀部 それが、大企業と違つて金があまり回つてこないからやりにくくし、金を借りるにしても高い金利で借りなければならぬ。というようなことが強く表面に出てまして、経営の本質をよそへおいといて、という感じがします。

秋田 中小企業の場合、大企業より信用が弱いのは当然ですから、その特殊性ということについては配慮をして欲しいと思います。誘い水になるような金融の場合ですね、これはぜひ、政府なり金融機関なりにお願いしたいですね。

むろん、気構えとしては自からが収支を改善して、自然に金融がついてまわるというようになりますが大事だと思いますがね。まあ、これまでいろいろやってきて金融でつなごうというところなことです。やっぱり抜本の解決が大切ですな（笑）

経済ポケット

ジャーナル

神戸産業界の注目を
あつめる川崎グループ

資本自由化などを控え、

このところ産業界の再編成

は活発化しているが、神戸

でも川崎重工、川崎車輛、

川崎航空機工業など川崎グ

ループの結束強化が注目さ

れている。元来、一社だっ

ての企業が戦後の財閥解体な

どで分割されていたものだ

けに現在の機種調整や共販

だけではなく、今後は企業合

同など思い切った方同に動

くのではないかとの声も有

力である。

ことに川崎グループでは
これまで川鉄、川崎汽船な
どを加えた七社でグループ
開発委員会（委員長四本川
崎航空副社長）を結成、作
業を進めているが、今回社
長クラスで結成する睦会も
具体策を急ぐとの方針から
加藤川重専務を中心とする
専務クラスの特別部会を発
足。いよいよ“一体化”ム
ードも盛り上り産業界の脚
元を浴びてるわけだが、グ
ループは神戸産業界の中心
だけに“神戸っ子”としてし

どころ。

西山川鉄社長
心配される

神戸財界の大御所と自他
共に許す川崎製鉄社長の西
山弥太郎氏が長期的な病い

のマトになっている。

同氏は戦後、小企業川鉄

をひきい、世界的な千葉工

場建設、現在では水島製鉄

大製鉄所づくりに成功した

歴史的な人物。日本財界で

も重きをなし、文字通り神

戸の第一人者として若い人

にも絶大な人気があるが、

いかんせん病状は、はかば

かしくないようでは、一部

は再起の見通しが危ぶまれ

ているようだ。

もちろん、後継者には藤

本、野利添両副社長などが

控えてはいるが、西山氏が

“天皇”的異名すら持つ

藏氏が選任され、大いに期

待を集めている。

同ボストンには長らく兼松

会長沖豊治氏が敏腕を振つ

ていたが、商議所副会頭、

新商議所会館建設委員長な

ど業務約多忙に加えて、

各種の仕事が多く、かねて
から辞意をもらしていたの

で、積極さと行動力を買わ

れて三木氏が選任されたわ
けだ。なんといっても神戸
は海運、貿易の町であり、
貿易業界は後進国巻き返
しなどから、ここ数年、苦
しい立場に追い込まれて、い
ただけに三木氏の手腕はみ
るだけに、三木氏の手腕はみ

ない場合、神戸の政財界に
“大穴”があつた感じにな
りそうだ。

中小企業の人手不足
解消に新アイデアを

景気がよくなるにつれ
て、中小企業の人手不足が
一般に強く表面化してきた
が、さりとて法外な給与も
出せざと、アノ手コノ手の
対策が打ち出されている。

中でもゴムメーカー、山
地ゴム工業所（山地半次社
長）のように中高年婦人を

積極的に活用、見事、人手
難を開いた新ケーブスもあ
り、アイデアマン“神戸っ
子”的本領いかんと大阪商

人たちからも注目されてい
る。もちろん山地の場合

も、野利添両副社長などが
職より収入がよいし、会社
側も大いに有利。まさに一
石二鳥とはこのことです

かっただけに同氏が再起し

たと自慢している。



新任された三木会長



KOBEオフィスレディ

優雅と気品ある
仲庭の宝石
貴金属・時計



宝石・貴金属・時計

仲庭

さんちかタウン (39) 4593
梅田新道堂ビル北 (364) 0215
桜橋 每日新聞社前 (341) 0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

ENJOY

ということばをご存知ですね。それは
ENJOY a Good Shopping
という場合にも使われます。丁度あなたが
スタイルアオイでお買物の散歩を
されるときそう申します。

ビーズバッグのシーズンです
豊富に取り揃えております



高級舶来品の店

三宮センター街1丁目 **STYLE aoi**
スタイルビル 4階
39-3985

神戸ドキュメント

↑7

神戸少年鑑別所

有 井 基

「少年非行の問題は、社会の裏道です。話題が暗すぎり
るんじゃないですか」

神戸少年鑑別所の多久和興所長はいった。なるほど裏通
りの問題かも知れない。だが、本来は裏道の問題が、表

通りに出て目につきすぎる。暗いからとて、目をつむれ
ないのだ。

兵庫区下祇園町の一角。家庭裁判所と市電平野線をへ
だてて東へ折れて三十メートル。外見からして、まこと
に無愛想な建物である。ことし二月、石井
法相は少年法改正の予備知識をつけるため
「ネリカン」東京少年鑑別所をたずねた。そ
の時、あまり殺風景なにおどろき、所蔵の
絵を贈った。神戸の内部も、殺風景さに変わ
りはない。

もともと、絵や花で飾りたてても、非行と
いう事実があるかぎり、殺風景な印象は消え
るまい。はじめに訪れた日、多久和所長が不
在で会えぬまま、私は灰色のコンクリートべ
いに沿って歩いた。序舎の受けつけに、たぶ
ん面会か差し入れに来たのだろう。どことな
くひっそりとした人のかたまりがあった。歩
きながら、その一人一人の顔を思い浮かべ
る。みんな目が小さかった。力のない、かっ
たるい目。

暑さのせいではない。くたびれたあの人た
ちの、伏し目は、親の、兄や姉の、子供にわ
びる目ではなかつたか。わびはしても、それ
以上、どうすることもできない。無気力な目



くうす緑のドームが目立つ神戸少年鑑別所

でもあつた。

いittai、何をどうすればいいのか。少年非行の問題は、すでに、いつくさされている。いつくさきことがはかどらない。この、高いへいで“隔離”された少年は、いま百二十人いる。例年、九月に急増して定員百四人をはるかに越す。夏休みで非行がふえるせいだ。その九月も目の前。打つ手はないのだろうか。

神戸少年鑑別所が一年間に扱った件数は、四十年には二千五百五十三人。うち少女二百六十九人で、ざつと一割。扱い件数からいくと東京、大阪に次いで三番目だ。

ご承知の通り、児童相談所や警察から送られてきた犯罪少年を収容し、四週間を限度として、日常行動を観察するのが役目。少年鑑別所處遇規則によると、

「少年を明るく静かな環境に置いて、少年が安心して審判を受けられるようにし、そのありのままの姿をとらえて資質の鑑別を行うよう心がけねばならない」（第二条）

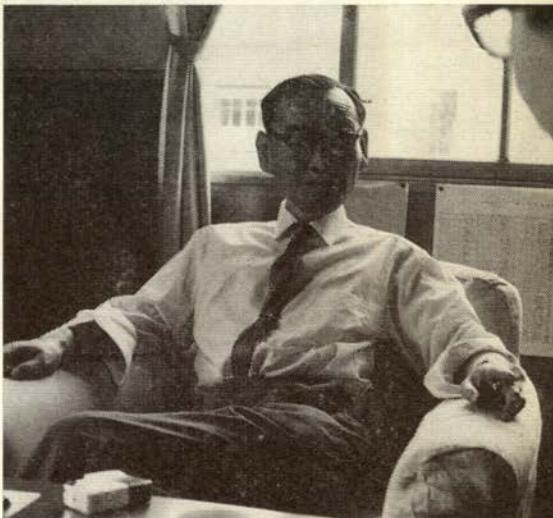
「鑑別には、少年の素質、経歴、及び人格ならびにそれらの相互関係を明らかにし、少年の矯正に関して最良の方針を立てる目的をもって行わねばならない」（第十七条）

鑑別の結果で、在宅保護、あるいは少年院や教護施設、精神病院へ、それぞれに適した措置を判定、裁判の資料として出す。

私が、論じつくされた問題の整理のために、鑑別所を選んだのは「ありのままの姿」から「資質」を見きわめ

ある。しかし、それにしては統計上「極貧層」「下流層」が減り、「中流層」「上流層」の増える傾向にある。崩壊家庭も、もとをただせば貧乏から、ということもして少女は一四・二%。しかも十九歳の女子では二一%の高率だった。少女が家を出て、食うためには、売春が最も近道だからだろう。

さきに、神戸市衛生研究所が、収容児に梅毒血清反応をおこなった。その結果、少年の陽性者二・八%にたいして少女は一四・二%。しかも十九歳の女子では二一%



〈少年非行問題を語る多角和所長〉

「少年の矯正に関して最も良の方針」を、さぐってこられた多角和所長に、お話をうかがいたかったからだ。

「いま、百二十人ばかりのうち、殺人を犯したもの三十人がいます。彼らを見ても、環境因子が、断然、優勢なのです。父親が酒のみで家族を困らせるから、というケースもあり、ほとんどが崩壊家庭の子弟ですね。垂水でタクシー運転手を銃銃で射殺した東京の少年も、いまおりますが、やはり家族のあつれきが原因です。」

非行の内容をみると、男では窃盜（一〇五三人）恐かつ（二二二人）傷害（一七九）ぐ犯（一四〇）強かん（二三四）の順。女ではぐ犯（一五五）窃盜（六七）売春（一六）強盜（七）となっている。年令別では男が十八歳（二四・八二%）十七歳（二四・一二%）をピークとし、女では十七歳の二九・三七%が最高。

「女子の犯罪は見落とすことが多い。ノート一冊ぐらいい、女だから、と軽く見ているうちに、罪を重ね、気がつけば、はい上がりぬ状態におちこんでいる。女は立ち直りにくいので、どんな小さなことでも反社会的行為は、小さなうちに芽をつみとるべきです」

さきに、神戸市衛生研究所が、収容児に梅毒血清反応をおこなった。その結果、少年の陽性者二・八%にたいして少女は一四・二%。しかも十九歳の女子では二一%の高率だった。少女が家を出て、食うためには、売春が

取り競争で、友情といったあついものの育つゆとりがない。逆に人をけ落とすための競争心ばかり植えつけられて、敵意を養うようなものです。学校で暖かくかかえてもらえば非行も防げるのですが……」

進学勉強の足手まといになる生徒は、切り捨てられる。心を合わせる友だちもいないし排他性が身についている。いきおい感情のやり場がなく、ブレークのかからぬまま衝動的にコトを起こしてしまう。

「体格だけはオトナなみでも、知能は小学四・五年といった子供が、前後の見境いもなく罪を犯す。オトナは強制収容すると神妙になるが、子供は入所して四・五日もしたら忘れて童心に返っている。罪の意識がないんじ

やなくて、まるきり子供なんだ。よく子供が、いま泣いたと思えば、すぐケロリと笑うでしょう、あれですよ」

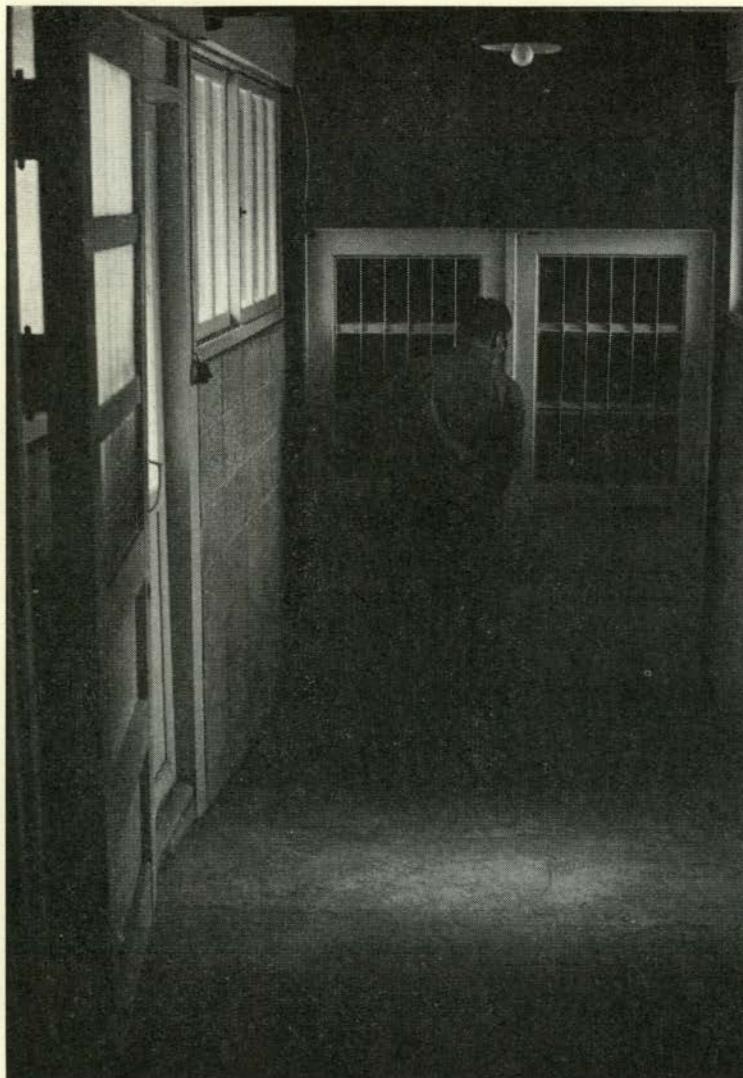
オトナ顔負けの凶悪犯罪をやるから、ついオトナの目で、彼らを見てしまう。しかし、まだ成長への過程にあることもだ。その意味で“未成年”なのだ——という。

ここ数年来、法務省は十八・九歳の凶悪犯罪がふえて

いるのだから、少年法の適用は十八歳未満にして、十八歳から二十二歳までを「青年」にしよう。そして家庭裁判所の措置は生ぬるいから、検察官が先きに刑事责任の面からとり扱うことにして、といいつづけてきた。

これと対立して最高裁は、少年の将来を傷つけないと

め、教育主義、保護主義の原則はゆずらない。個人の環



〈社会と少年達をさえぎる扉〉

境や資質に応じて個別的に処遇する。そのためにも先議権は中立的な保護機関である家裁に残すべきだ、と主張してきた。

しかし、この対立は、刑罰で封じこむか、教育で善導

するか、という単純な問題ではない。法律は、現場の実際的運用に即して、冷静に考えられないと、効力を失なう。

「どうしても社会復帰できない。いわゆる適応能力に欠ける者がいます。女子は結婚が特効策だが、男は救いようのないのが残るのです。ここでは子供なりのまま届託がないのに、外へ出ると顔つきが変わる。保護司などと新聞地付近くでよく見かけるのですが、それは決して自分を防衛するため本能的に身構える硬さじないです。グレン隊に入つて怠けて食う、それしか生活能力がなく、すでに、ゆがみが体質化しているんです。だから多和所長は、保護すべきものを、保安上処理すべきものと“鑑別”することが大切であり、それ以前に、学校教育が血の通つたものにならないと、非行は防げない、という。

現実に、入所八回という男子四人がある。七回(四人)六回(十二人)五回(五五人)四回(一〇五人)三回(二二六人)二回(四七五人)……という数字をみると、「教育による善導」がむなしく思えるのも当然だろう。資質と環境を見きわめて守れるものは守っていく、しかし、責任能力のない者には刑罰で法の精神を徹底するほかはない。

西ドイツの故クレーチメル博士は、少年非行には素質も原因しており、責任を環境にだけなすりつけるのは意

思薄弱の証拠だといったが、自分を正当化することの、まことにうまい連中もいる。正業がないから、やむなく暴力団へはいったのだ。就職さえあれば……。

一度の盗みで少年院に入れられた。出て来たら人が白い目を向けるので、少年院で知り合った仲間とくつついだ……。

これが正当な理由である場合も少なくない。だが、同じように口実に使つて同情をひく手合いもある。一律に「だからヤツらはダメなんだ」と決めつけては間違いを犯す。

そのために鑑別所があるのだが、鑑別の、具体的なケースは聞けなかつた。時間に追われていたせいもある。が、これまで論議しつくされた問題を、大ざっぱになぞる作業におわつた。この道十六年、多和所長の深い経験に触れているうち、せっかちに結論を求めるとの誤りを知つたからである。

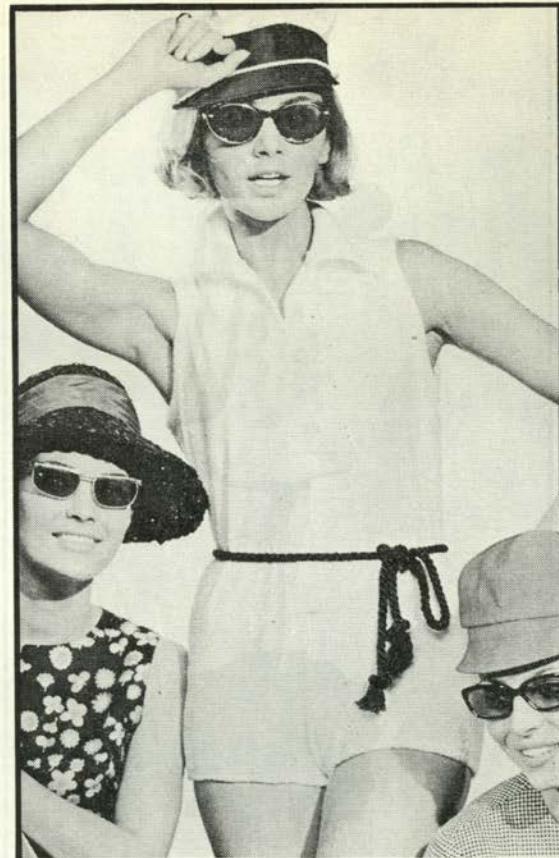
家庭、学校、職場、地域の、それぞれの単位で協力しながら長期的な対策を組もう——中央青少年問題協議会は、意見書で、こう強調した。もう何年、同じことが繰り返しわれてきただろう。しーんと静まり返つた廊下に響く鉄格子のドア。幾重にも重なつたドアに、いちいちカギをあてる職員。放課後の学校が鉄のオリに変わつたような、その沈黙の底で、若い彼や彼女は、何を思い、何を考えているのだろう。灰色の制服を着た少年たちは、はたして無邪気に童心を遊ばせているだろうか。童心と呼べる、いきいきした素顔を見せているだろうか。たつた一人見かけた、小柄な少女は、泣きはらした目を指でかくし、テレたように笑つて通つた。



ネクタイの

元町バザー

神戸×元町1丁目 TEL (33) 1401・7031



あなたの夏を楽しむサングラス
世界光学品豊富品ぞろえ

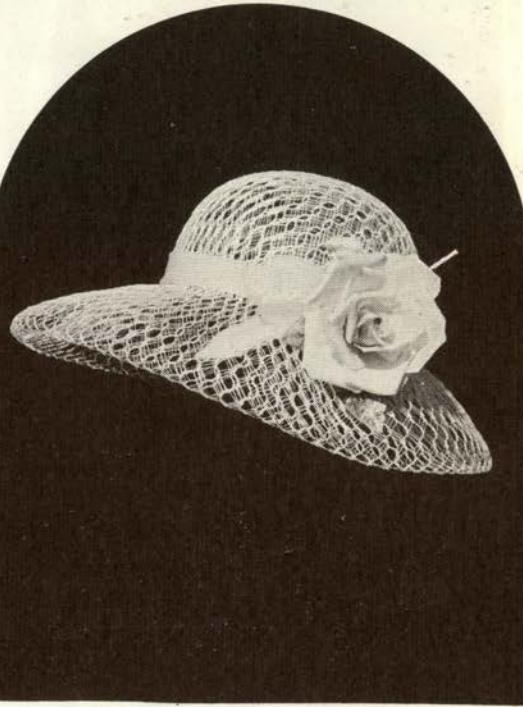
服部メガネ店

大丸前 TEL (33) 1123



美しさを創る
オートクチュール
アスター ニュートン
コーベトアロード 33-1818
オーサカハンシン 361-1201

涼やかに夏のセンスを
生かすマキシムの帽子



婦人帽子

マキシム

神戸・トアロード 東京・銀座 3-2
TEL 神戸33-6711-3 TEL 東京535-5041